

令和5年度 学校評価 自己評価書

学校 北海道雨竜高等養護学校

1 本年度の重点目標

- 1 「分かる」「できる」授業づくり
- 2 「考え」「判断し」「伝える」力の育成
- 3 自分や相手を思いやる心の涵養

2 本年度の経営の重点

- 1 情報共有と連携の強化(報告・相談・確認)
- 2 同僚性と協働性に基づく業務推進
- 3 教育(生活)環境と危機管理体制の整備

3 自己評価結果

自己評価の達成状況や取組の適切さについては、職員評価と保護者アンケート関連項目を併せるとともに、自由記述の内容も加えて評価する。

A(達成) B(おおむね達成) C(やや不十分) D(不十分)

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	検討事項・改善の方策	各アンケート関連項目
学校経営	管理職は、適切にリーダーシップを発揮し、学校経営を行っているか。	B	B	職員一人一人が当事者意識をもち、他者の意見を受け止め、建設的な意見を交わし、合意形成を図るよう指導・助言に努めます。今後も期限付き職員の確保に努めます。	教1
教育課程	本校の教育課程は、生徒の特性等や地域の実態ならびに学科の特色を考慮して編成し、適切に実施されているか。	B	B	今年度から、各種行事や学習活動が再開されました。今後も新教育課程に基づいた実施と評価に努めるとともに、地域資源を活用した教育活動を積極的に進めます。	教2、保1
	地域資源を活用し、地域と連携した教育活動を展開しているか。	A	A		教3、保2
個別の計画等	個別の指導計画・教育支援計画に基づき、具体的な目標の設定と評価を行っているか。	B	B	個別の教育支援計画及び個別の指導計画を有効活用するために、今後も生徒の実態把握と、具体的な目標の設定及び評価に努めます。	教4、保3
学習指導	生徒一人一人に対し、「分かる」「できる」授業を通して、「考え」「判断し」「伝える」力の育成に努めているか。	B	B	校内研究で、授業における学習評価と指導方法の改善について取り組むなど、「分かる」「できる」授業づくりに努めました。また、生徒自身が考え、対話する学習に積極的に取り組んでいます。	教5、保4
進路指導	社会的・職業的自立に向けて必要となる資質や能力の育成を行っているか。	B	B	社会参加や自立に向けた資質・能力の育成に努めています。これまで1700人を超える卒業生を地域に送り出してきました。その事例を参考にしながら参考にしなが、在校生の指導に努めます。	教6 保5、6
生徒指導	生徒理解に努め、教職員と生徒との信頼関係を築き、学舎連携のもと指導に取り組むことに努めているか。	B	B	生徒指導について、日頃から情報共有に努め、学校、寄宿舎、家庭が連携して対応するように努めています。今後も、生徒一人一人に応じた生徒指導に努めます。	教7、保7
	いじめの実態把握と早期発見・報告に努めるとともに、組織的な対応・課題解決を行っているか。	A	A	いじめへの対応については、組織的に対応し、事実確認や説明、事後指導を適切に進めるよう引き続き取り組みを進めます。	教8、保8
	生徒一人一人の人格と個性を尊重し、思いやりのある豊かな人間性を育む教育活動を推進しているか。	A	A		教9、保9
寄宿舎指導	生徒の自立的に活動する力の向上や余暇の充実を図る指導や支援を行っているか。	B	A	健康で、安心・安全な寄宿舎生活を心掛けるとともに、生徒同士の話し合いの場を設けるなど、学習会を実施しています。また、行事を再開し、余暇活動の充実にも努めています。	教10 保10
安全・健康・指導	日常の健康観察や衛生管理、疾病予防、生徒の自己健康管理能力の向上のための指導を行っているか。	A	A	感染症への対応や熱中症予防などを含めて、日常的な健康・安全指導について、教職員が危機意識をもって当たっています。	教11 保11
	食に関する指導を通して生徒の健康管理や「食」の大切さについての理解啓発を行っているか。	A	A	食育について、おにぎりプロジェクトや世界の料理などについて校内掲示など工夫を凝らした取組を行うとともに、情報発信に努めています。	教12 保12

危機管理	防災教育・訓練の実施と必要備品の整備を計画的に進めているか。	A	A	計画的に防災訓練と備品等の整備に努めています。また、雨竜町などの協力を得て一日防災学校を実施しました。	教13 保13
情報提供	学校の経営方針や教育活動、寄宿舎の生活について、地域や保護者、関係機関等に対して適切に情報発信を行っているか。	B	B	ホームページを活用し、学校概要や教育課程を紹介しています。雨竜高養ブログの閲覧も多いようです。今後も保護者や地域に向けた情報発信に努めます。	教14 保14
保護者との連携	保護者と教職員が連携、協力して、充実したPTA活動や諸活動を行っているか。	B	B	事業の精選を行いながら、PTA活動を再開しました。今後も職員と保護者が、連携、協力しながら、必要な活動を進めていきます。	教15 保15、16
服務規律	教職員は生徒の人権を尊重し、教育公務員としてふさわしい服装や身だしなみ、節度ある行動や態度・言葉遣いで教育活動を行っているか。	B	B	今後も、服務規律について高い意識をもつとともに、教育公務員としてふさわしい言動・身だしなみに努め、生徒の手本となるよう心掛けます。	教16 保17
センター的機能	教育相談、小・中・高への支援など、特別支援教育のセンター的な機能の発揮に努めているか。	B	A	パートナーティーチャー事業や教育相談などを通して、地域の特別支援教育のセンター的機能の発揮に努めています。	教17
組織運営	働き方改革に向け、諸法規への対応や時間外勤務縮減を意識した職務の効率化に取り組んでいるか。	B	B	教職員が日々の生活の質や教職人生を豊かにし、生徒への効果的な教育活動を行うために、業務の見直し、精選に努めます。	教18
	教職員一人一人は、互いの信頼と協力の基、同僚性と協働性に基づいて業務を行っているか。	B	A	教職員は、情報共有と連携を意識し、それぞれの立場で、互いの立場を考えながら、意見を交換し、共通理解の基、業務を行っています。	教19
研修	校内外の研修を積極的に活用し、授業改善に生かしているか。	B	B	今年度策定された北海道教職員研修計画に基づき、教職員一人一人が資質能力の向上に向け、自ら課題をもち主体的に研修に取り組むよう努めています。	教20

4 自己評価における特記事項

○教職員評価及び保護者のアンケートで同内容の項目をまとめ、それぞれの結果を基に分析し、改善の方策を検討した。